

臨床検査項目(基準値・概要)一覧

2021年8月2日改定

生化学	生化学	基準値			単位	検査項目の概要	
TP	総蛋白	6.5	~	8.2	g/dl	栄養状態の指標で肝臓の病気やネフローゼ症候群で低下します。	
Alb	アルブミン	3.8	~	5.2	g/dl	血液中の蛋白質の一種で、栄養状態や肝臓の働きを反映します。	
Glu	血糖	70	~	109	mg/dl	糖尿病の基本的な検査で、食事をとると上昇します。	
BUN	尿素窒素	8.0	~	20.0	mg/dl	蛋白質が分解されて出来る血中の老廃物で、腎機能低下で上昇します。	
UA	尿酸	男 女	3.6 2.7	~ ~	7.0 7.0	mg/dl	肉類やビールの過剰摂取で高くなり、痛風の原因となります。 腎機能低下で上昇します。
CRE	クレアチニン	男 女	0.65 0.46	~	1.09 0.82	mg/dl	筋肉で代謝される物質で、腎臓の機能が悪くなると上昇します。 腎機能の優れた指標です。
Na	ナトリウム		135	~	145	mEq/l	水分バランスの状態をみます。脱水があると高くなります。
Cl	クロール		98	~	108	mEq/l	ナトリウムと平行して動きますが、酸塩基平衡にもかかわっています。
K	カリウム		3.5	~	5.0	mEq/l	果実や緑黄野菜に多く含まれます。腎臓の機能が悪くなると上昇します。
Ca	カルシウム		8.6	~	10.2	mg/dl	骨のもとになる電解質です。 神経、筋肉の働きや血液の凝固にかかわっています。
i-P	無機リン		2.5	~	4.5	mg/dl	腎機能が悪くなると上昇します。小児は成人より高値です。
Mg	マグネシウム		1.7	~	2.6	mg/dl	各種内分泌機能、循環器疾患にかかわりがあります。 腎機能が悪くなると上昇します。
T-Bil	総ビリルビン		0.3	~	1.2	mg/dl	黄疸のもとになる物質です。肝臓や胆嚢、血液の病気で上昇します。
D-Bil	直接ビリルビン		0.4以下		mg/dl	排泄型のビリルビンです。胆嚢(管)の病気で上昇します。	
AST(GOT)	AST(GOT)		10	~	40	U/l	肝臓、心臓、筋肉などに分布する酵素で、これらの疾患で上昇します。
ALT(GPT)	ALT(GPT)		5	~	45	U/l	肝臓に分布する酵素で、主に肝臓の病気で上昇します。
LD(LDH)	乳酸脱水素酵素		120	~	245	U/l	ほとんどの組織や臓器に分布する酵素で、多くの疾患で上昇します。
ALP	アルカリ fosfataze		38	~	113	U/l	肝臓と骨に多く含まれる酵素で、これらの疾患で上昇します。 骨が成長中の小児は成人より高くなります。
LAP	ロイシンアミノペプチダーゼ		30	~	78	U/l	肝臓等に分布する酵素で、胆嚢(管)の病気や妊娠で高くなります。
γ-GTP	γ-GTP	男 女	79以下 48以下		U/l	肝臓に多く分布する酵素で、肝臓や胆嚢(管)の病気で高くなります。 アルコールの多飲や薬剤性肝障害でも高くなります。	
ChE	コレステラーゼ	男 女	245 198	~	495 452	U/l	肝臓の疾患で低下します。有機燐(農薬)の中毒でも低下します。
Amy	アミラーゼ		39	~	134	U/l	膵臓と耳下腺に分布する酵素で、これらの疾患で上昇します。
CK	クレアチニナーゼ	男 女	50 50	~	230 210	U/l	筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の炎症等で高くなります。
T-Chol	総コレステロール		150	~	219	mg/dl	体質的に高い場合と、動物性脂肪などの過食や体重増加などで高くなる場合があります。高値が持続すると動脈硬化を促進します。
LDL-Chol	LDLコレステロール		70	~	139	mg/dl	「悪玉コレステロール」で、高値は動脈硬化の危険因子です。
HDL-Chol	HDLコレステロール	男 女	40 40	~	80 90	mg/dl	血管のコレステロールを取り除く「善玉コレステロール」です。 低値の場合は動脈硬化の危険因子です。
TG	中性脂肪		50	~	149	mg/dl	食後に上昇します。過食、過飲、体重増加などで上昇します。
TIBC	総鉄結合能	男 女	250 250	~	410 460	μg/dl	赤血球の原材料である血清鉄の総輸送能力を示します。 鉄欠乏性貧血等で増加します。
UIBC	不飽和鉄結合能	男 女	120 110	~	330 425	μg/dl	不飽和鉄結合能 = 総鉄結合能 - 血清鉄
Fe	血清鉄	男 女	60 50	~	210 170	μg/dl	赤血球のヘモグロビンを構成する元素、鉄欠乏性貧血で低下します。
CRP	C反応性蛋白		0.30以下		mg/dl	肝臓でつくられる蛋白質の一種で、細菌感染や炎症で上昇します。	
HbA1c	ヘモグロビンA1c (NGSP)		4.6	~	6.2	%	過去1~2ヶ月の平均的な血糖レベルを表します。 糖尿病の診断や、コントロールの指標となります。(国際基準値)

血球計数		基準値			単位	検査項目の概要	
WBC	白血球	3500	~	9700	/ μ l	殺菌作用がある細胞で、細菌感染や炎症等で増加します。	
RBC	赤血球	男 376	~	577 516	$10^4/\mu\text{l}$	酸素や二酸化炭素の運搬に関与します。減少することを貧血といいます。	
		女					
Hgb	血色素量	男 13.6	~	18.3 15.2	g/dl	赤血球中の赤い色素で、酸素を運搬し、貧血の指標となります。	
		女 11.2	~				
Hct	ヘマトクリット	男 40.4	~	51.9 45.2	%	血液中に占める赤血球の割合で、貧血や多血症の指標となります。	
		女 34.3	~				
PLT	血小板数	14.0	~	37.9	$10^4/\mu\text{l}$	止血に重要な細胞で、減少すると出血（青あざなど）しやすくなります。	
網赤血球	網赤血球	0.1	~	2.6	%	最も若い赤血球で赤血球の産生が盛んになると増加します。	

凝固線溶		基準値			単位	検査項目の概要	
PT%	プロトロンビン時間	80.0以上			%	止血機能を調べる検査です。肝機能やワルファリン治療の指標です。	
PT-INR	PT-INR	0.84 ~ 1.14				止血機能を調べる検査です。肝機能やワルファリン治療の指標です。	
APTT	APTT	26.0 ~ 38.0			秒	止血機能を調べる検査です。抗凝固療法の指標となります。	
Fib	フィブリノーゲン	170 ~ 410			mg/dl	止血機能を調べる検査です。炎症があると増加する場合があります。	

尿一般		基準値			単位	検査項目の概要	
蛋白定性		(ー)~(±)				腎臓の病気で検出されます。運動や過労、発熱等でも検出されることがあります。	
糖定性		(ー)~(±)				糖尿病等で検出されます。食後やストレス等で一時的に検出されることがあります。	
ウロビリノーゲン		(±)				溶血性貧血、肝炎、便秘、発熱などで検出されます。	
ビリルビン		(ー)				肝細胞性黄疸、肝内胆汁うつ滞、閉塞性黄疸などで検出されます。	
比重		1.008 ~ 1.034				腎臓における尿の濃縮の指標となり、脱水で高くなります。	
pH		4.8 ~ 7.5				尿路感染症、嘔吐などで高く、発熱、脱水、飢餓などで低くなります。	
ケトン体定性		(ー)				糖尿病性アシドーシス、脱水、飢餓、発熱、嘔吐、下痢などで検出されます。	
潜血反応		(ー)				腎臓、膀胱、前立腺の炎症、結石などで検出されます。	
亜硝酸塩定性		(ー)				細菌が産生する物質で、細菌の存在の指標となります。	

免疫血清学		基準値			単位
Ig G		820	~	1740	mg/dl
Ig A		90	~	400	mg/dl
Ig M	男 女	31 52	~	200 270	mg/dl
C3		80	~	140	mg/dl
C4		11.0	~	34.0	mg/dl

感染症	基準値	単位
HBs抗原	(-)0.05未満	IU/ml
HBs抗体	(-)10.0未満	mIU/ml
HCV抗体	(-)1.0未満	S/CO
HIV抗原・抗体	(-)1.0未満	S/CO
梅毒脂質抗体	(-)	
梅毒TP抗体	(-)	